

問1	ブラジルの近年の産業発展と、その特徴について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)			
	1. かつてのようなコーヒー栽培を中心としたモノカルチャー経済が続いており、工業化よりも農産物の輸出拡大を最優先している。	2. アジア太平洋経済協力会議（APEC）に加盟し、周辺諸国との輸入関税を完全に撤廃することで急速な工業化を達成した。	3. 鉄鋼業や自動車、航空機製造などの重化学工業が発展しており、さらに海底油田の開発によって原油を輸出するまでになっている。	4. 資源が乏しいため原油の全量を輸入に頼っているが、バイオ燃料の開発によって国内の電力需要をすべてまかなっている。
問2	第一次世界大戦期に、日本で鉄鋼業や造船業、化学工業などの重化学工業が飛躍的に発展した背景として、最も直接的な理由はどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)			
	1. 工場法が制定されたことにより、労働環境が改善して重化学工業の生産効率が飛躍的に高まったため	2. ヨーロッパからの製品の輸入が途絶えたことで、国内での機械や薬品などの自給が必要になったため	3. 世界恐慌の影響で軽工業製品の価格が暴落し、政府が強制的に重化学工業への転換を命じたため	4. 日露戦争の勝利によって、欧米諸国との関税自主権を完全に回復し、輸入制限が可能になったため
問3	第二次世界大戦下の日本では、戦地へ送られた成人男性に代わり、女子生徒などが工場で働き、軍需品の生産を支えました。このように、労働力不足を補うために学生が学校での授業を中断して生産活動に従事させられたことを何といいますか。 (2018年 富山県公立入試 類似)			
	1. 工場労働者育成制度	2. 義務教育の延長	3. 職場選択の自由	4. 学徒勤労動員
問4	日本の東北地方の太平洋沖では、北から流れてくる千島海流（親潮）と、南から流れてくる日本海流（黒潮）という、性質の異なる2つの海流がぶつかり合っています。このように寒流と暖流が接する境界の名称として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)			
	1. 大陸棚	2. ラグーン	3. 潮目（潮境）	4. カルデラ
問5	律令制度のもとでは、全国から都へ「調」や「庸」などの税が運ばれました。これらの特産品に付けられていた木の札である「木簡」の記述から読み取れる、当時の税制の仕組みとして最も適切な説明はどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)			
	1. 地方から都へ送る品物の内容や送り主の氏名・居住地を記録し、確実に税を徴収するための管理に用いられた	2. 地方の豪族が自身の権力を誇示するために、豪華な装飾を施して古墳に埋葬する副葬品として作られた	3. 都での市場取引において、金属製の硬貨の代わりに支払いに使われる代用貨幣として機能した	4. 文字を読めない農民に対し、仏教の教えを視覚的に伝えるための布教の道具として用いられた
問6	近年のオーストラリアの産業と貿易の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)			
	1. 国内での鉄鉱石の産出量が減少したため、現在は中国などの近隣諸国から原料を輸入して加工する工業が中心となっている。	2. 北米自由貿易協定（NAFTA）に加盟したことで、最大の輸出相手国であるアメリカ合衆国へ原油を輸出する割合が増加した。	3. アジア諸国との経済的な結びつきを弱めるため、イギリスを中心としたヨーロッパ諸国への鉄鋼製品の輸出を強化している。	4. かつては羊毛の輸出が中心だったが、現在は鉄鉱石などの鉱産資源を最大の輸出相手国である中国へ大量に輸出している。
問7	先進国の政府機関が、発展途上国の経済発展や福祉の向上のために行う支援活動を政府開発援助（ODA）といいます。日本がASEAN諸国などに対して実施している、この支援の主な内容として適切なものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)			
	1. 軍事力の強化を目的とした兵器の供与や、自衛隊の駐屯地の建設	2. 民間企業が営利目的で行う工場の建設や、現地の労働者の直接雇用	3. 道路や橋などのインフラ整備のための資金提供や、技術習得を助ける技術協力	4. 発展途上国からの輸入を制限し、自国の産業を保護するための経済政策
問8	日本の行政を担う内閣の組織について、国務大臣の選任に関する記述として正しいものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)			
	1. 天皇が任命し、すべての国務大臣は国会議員の中から選ばなければならない。	2. 国会の指名に基づいて任命され、民間人から選ぶことは禁止されている。	3. 最高裁判所長官が任命し、国会議員のなかからのみ選出される。	4. 内閣総理大臣が任命し、その過半数は国会議員の中から選ばなければならない。
問9	富山県を含む北陸地方では、かつてアルミニウム工業が盛んに発達しました。アルミニウムの製錬には極めて大量の電力を必要とすることを踏まえ、この地域に産業が集積した理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 富山県公立入試 類似)			
	1. 急流河川を利用した水力発電によって、安価で豊富な電力が得られたため	2. 広大な平野部を利用して大規模な太陽光発電が行われ、電力を自給できたため	3. 大規模な火力発電所が建設され、海外から輸入した石炭を安く利用できたため	4. 北陸新幹線の開通により、製品を消費地である首都圏へ高速輸送できるようになったため
問10	火山の防災計画において、地形図の等高線から溶岩流が通過しやすい場所を予測する方法として正しいものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)			
	1. 等高線が密に重なり合っており、傾斜が急で周囲の土地より高くなっている絶壁の場所を特定する。	2. 等高線が山頂側に向かってV字状に曲がり、周囲の土地より低くなっている谷状の場所を特定する。	3. 等高線の間隔が最も広がっており、周囲の土地より高くなっている平坦な尾根状の場所を特定する。	4. 等高線が海岸線に向かって凸状に張り出し、周囲の土地より高くなっている場所を特定する。
問11	家計の消費行動の変化に関する記述のうち、電子マネーの性質と利用実態について正しく述べたものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)			
	1. 電子マネーはインターネットを利用した通信販売専用の決済手段であり、自宅以外の場所で利用することはできない。	2. クレジットカードと電子マネーはどちらも後払い方式に限定されており、事前に現金を入金して利用する仕組みは存在しない。	3. 電子マネーは、交通費の支払いやコンビニエンスストアでの買い物など、現金を使わずに迅速に決済を行う手段として普及している。	4. 電子マネーを利用する最大の利点は、どのような種類であっても事前の入金が不要で、無制限に買い物ができる点にある。
問12	情報化社会の進展に伴い、旅行の予約方法において「宿泊施設へ直接電話をする」割合が29.7%から19.9%に低下する一方で、「ネット専門旅行会社のホームページ」などの利用が急増している背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)			
	1. 店舗や電話での申し込みは手数料が無料化され、インターネット利用よりも割安になったため。	2. 情報格差（デジタル・デバイド）が解消された結果、高齢者全員が店舗での相談を避けるようになったため。	3. インターネット上の情報は対面での説明よりも常に信頼性が高く、トラブルが発生しないため。	4. インターネットを通じて、消費者が24時間いつでも予約や情報の比較ができるようになったため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 鉄鋼業や自動車、航空機製造などの重化学工業が発展しており、さらに海底油田の開発によって原油を輸出するまでになっている。	ブラジルは豊富な鉄鉱石などの資源を背景に、鉄鋼や自動車だけでなく航空機製造といった高度な重化学工業を成長させてきました。また、沿岸部の海底油田の開発に成功したことで、エネルギー資源の自給率が高まり、原油を輸出するまでになっています。APECには加盟しておらず、南米南部共同市場（MERCOSUR）の一員として活動しています。
問2	答え 2 ヨーロッパからの製品の輸入が途絶えたことで、国内での機械や薬品などの自給が必要になったため	第一次世界大戦が勃発すると、戦場となったヨーロッパの国々からの製品の輸入が途絶えました。これにより、それまで輸入に頼っていた機械類や化学薬品などの自国生産が必要不可欠となったことが、日本の重化学工業化を強く後押ししました。また、欧州諸国がアジア市場から撤退したことで、日本製品への需要がアジアやアフリカで高まったことも大きな要因です。
問3	答え 4 学徒勤労動員	戦争の長期化により国内の労働力が不足したため、1944年には学徒勤労令などが発令されました。これにより、中等学校以上の生徒たちは学校での勉強を止めて、飛行機の組み立てや食糧増産などの作業に従事することが義務付けられました。これは当時の国民生活が、軍事優先の体制に完全に組み込まれていたことを示す事例です。
問4	答え 3 潮目（潮境）	北から南下する寒流（親潮）と、南から北上する暖流（黒潮）が衝突する境界は「潮目」または「潮境」と呼ばれます。この海域は海水の攪拌（かくはん）によってプランクトンが豊富に発生し、世界的な漁場の一つとして知られています。
問5	答え 1 地方から都へ送る品物の内容や送り主の氏名・居住地を記録し、確実に税を徴収するための管理に用いられた	発掘された木簡には、「どの国のどの郡の誰が、何を納めたか」が詳細に記されています。これは、中央政府（朝廷）が地方からの税を正確に把握・管理していた証拠であり、律令国家による中央集権的な統治の仕組みを具体的に示す貴重な史料となっています。宗教的な道具や貨幣、古墳の副葬品としての役割は、木簡の主な目的ではありません。
問6	答え 4 かつては羊毛の輸出が中心だったが、現在は鉄鉱石などの鉱産資源を最大の輸出相手国である中国へ大量に輸出している。	オーストラリアの貿易構造は、20世紀半ばまでは羊毛などの農産物をイギリスへ輸出する形が主でしたが、その後、石炭や鉄鉱石といった鉱産資源の輸出へと移行しました。輸出先もヨーロッパからアジアへとシフトし、現在は地理的な近接性と旺盛な資源需要を背景に、中国が最大の貿易相手国となっています。この関係は、オーストラリアの経済成長を支える大きな要因となっています。
問7	答え 3 道路や橋などのインフラ整備のための資金提供や、技術習得を助ける技術協力	政府開発援助（ODA）は、相手国の経済発展や民生安定を目的とした公的な資金や技術の提供を指します。具体的には、無償資金協力や返済を前提とした貸し付け（円借款）などの経済協力のほか、専門家を派遣して知識を伝える技術協力が含まれます。民間企業の投資や軍事支援とは区別されます。
問8	答え 4 内閣総理大臣が任命し、その過半数は国会議員の中から選ばなければならない。	日本国憲法に基づき、内閣総理大臣には国務大臣を任命し、また任意に罷免する権限が与えられています。選任にあたっては、その過半数を国会議員から選ぶことが義務付けられていますが、残りの人数については民間人（非国会議員）を登用することも可能です。これにより、専門知識を持つ人物を大臣に迎えるなど、柔軟な内閣組織の構築が図られています。
問9	答え 1 急流河川を利用した水力発電によって、安価で豊富な電力が得られたため	アルミニウムの製錬は「電気のはね」と呼ばれるほど大量の電力を消費します。富山県は北アルプスなどの山々から流れる急流河川に恵まれ、水力発電による安定した電力供給が可能であったため、高度経済成長期を中心にアルミニウム工業が大きく発展しました。
問10	答え 2 等高線が山頂側に向かってV字状に曲がり、周囲の土地より低くなっている谷状の場所を特定する。	溶岩流の被害予測（ハザードマップ）を作成する際、地形の判読は不可欠です。等高線が標高の高い方へと曲がっている箇所は、周囲よりも土地が低い「谷」であることを示しています。溶岩流は地形の低い部分に集まりながら流下する特性があるため、こうした場所が危険な流路になると判断されます。逆に、等高線が低い方へ張り出している「尾根」は周囲より高いため、溶岩流は避けて流れる傾向があります。
問11	答え 3 電子マネーは、交通費の支払いやコンビニエンスストアでの買い物など、現金を使わずに迅速に決済を行う手段として普及している。	現代の消費生活において、電子マネーは交通系ICカードやスマートフォン決済などを通じて、公共交通機関や実店舗など幅広い場面で活用されています。これは「現金を使わず」に決済できる利便性を背景としています。電子マネーには「事前に入金」するタイプと「後払い」のタイプがありますが、いずれも無制限に利用できるわけではなく、入金額や設定された利用限度額の範囲内の消費となります。
問12	答え 4 インターネットを通じて、消費者が24時間いつでも予約や情報の比較ができるようになったため。	インターネットによるサービス利用の拡大は、消費者が自分の都合に合わせて迅速に手続きを完了できるという利点に基づいています。かつては店舗の営業時間内に伺ったり、電話をかけたたりする必要がありましたが、専門サイトの普及によって、在庫状況の即時確認や価格比較が容易になったことが、店舗や電話の利用比率が減少し、インターネット利用が増加した大きな要因です。